

授業日時/教科・単元 2015年11月7日 / 英語・Speaking 活動

授業者 浦崎 多恵子 教材作成者 浦崎 多恵子

### 1. 児童生徒の学習の評価（授業前後の変化）

(1) 3名の児童生徒を取りあげて、同じ児童生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか、具体的な記述を引用しながら示して下さい。実技教科等で児童生徒の直接の解答が取れない場合は、活動の様子の変化について記して下さい。

児童生徒	授業前	授業後
1	<p>I think <u>summer</u> vacation is a good season to visit Okinawa because Okinawa is famous for <u>beautiful sea</u>. If you visit Okinawa in July or August, <u>you can enjoy swimming</u>.</p> <p>⇒泳ぐことができるという1つの要素のみの説明。</p>	<p>I think <u>winter</u> vacation is a good season to visit Okinawa because if you visit Okinawa in winter, <u>you can enjoy New Year's day</u>. You had better to go to Futenma Shrine. A lot of people visit there to pray. You should pick Omikuji. And you can eat Osechi on New Year's Day. Osechi is very good dish of Japan. We have <u>nice cool days</u> but we don't have snow. So Okinawa' winter is a good season.</p> <p>⇒相手が日本文化に興味を持っていることを意識したお正月の説明、暑い気候が苦手な相手の事を考慮した内容になっている。</p>
2	<p>I think <u>summer</u> vacation is a good season to visit Okinawa because <u>you can enjoy swimming and fishing by beautiful sea</u>.</p> <p>⇒泳ぐことができるという1つの要素のみの説明。</p>	<p>I think <u>summer</u> vacation is a good season to visit Okinawa. You should go to <u>a summer festival</u>. You can see beautiful fireworks there. And you should go to the sea. You can enjoy BBQ and swim there. Also, you should eat <u>kakigori</u>. <u>Okinawa is very hot but you can enjoy kakigori</u>.</p> <p>⇒アウトドアが好きな相手を意識している。夏に楽しめる祭りや海で泳ぐ以外にBBQが提案されている。又、相手が暑い気候が苦手であるが、かき氷を食べることを楽しめるという説明をしている。</p>
3	<p>I think <u>summer</u> vacation is a good season to visit Okinawa because I see sea. They enjoy swimming very much. There are many fish in the sea.</p> <p>⇒泳ぐことができるという1つの要素のみの説明。</p>	<p>I think <u>Golden Week</u> is a good season to visit Okinawa because Golden Week is <u>cool</u>. And you can go <u>swimming</u> in the beach and do some <u>outdoor activities</u> with your family. You can enjoy <u>camping</u>. So I think Golden Week is the best time to visit Okinawa for your family.</p> <p>⇒暑さが苦手な相手を意識した気候の説明がある。この時期に楽しめる相手が好きなアウトドアの提案がされている。</p>

(2) 児童生徒の学習の成果について検討して下さい。授業前、授業後に児童生徒が答えられたことは、先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べていかがでしたか。

授業前の事前活動では、外国人に勧める季節はほとんどの生徒が夏を選び、理由は「きれいな海で泳ぐことができる。」という解答が多かった。授業後の事後活動では、夏と冬を選ぶ生徒がほぼ同数となり、ゴールデンウィークを選んでいる生徒もいた。その季節を選んだ理由も1点だけではなく、その季節に楽しめるイベントや食べ物、気候などの様々な要素を用いて英語で説明していた。各時期の特徴を踏まえ、相手の興味や好みを意識した提案をするという「期待する解答の要素」を満たした生徒は96%であった。英語で相手に伝えようとする積極性は見られたが、”You should eat *kakigori*.”のように、外国の人が聞いてもわからない言葉をそのまま使って説明しようとする生徒が見られたので、本当の意味での相手の立場に立ったわかりやすい説明について考えさせる事と日本文化を英語で説明する技術を身につけさせる事が必要である。

## 2. 児童生徒の学習の評価（学習の様子）

児童生徒の学習の様子はいかがでしたか。事前の想定と比べて、気がついたこと、気になったことをあげてください。

エキスパート活動では、ほとんどのグループで各季節に楽しめるイベントや食べ物、気候の特徴のアイデアを出し合うことができていた。それらのアイデアを英文にするのではなく、キーワードのみを書き出すこともできていた。ジグソー活動では、各エキスパートで出したアイデアを英語で伝える場面があったが、間違いながらも英語で伝えようとする生徒が多く見られた。中には、英語力や時間が足りず英語で伝えられない生徒もいたが、ジグソーグループでアイデアを出しあっていた。ジグソー活動で、どの時期を外国人に勧めるかの結論は比較的早く出していた。その考えをサポートする理由も、様々な要素を取り入れたり、具体的な例を生徒がこれまで学習した英語を使って紹介できていた。クロストークで紹介する際には、事前に書かれた英文を読み上げるのではなく、キーワードのみを使って即興で表現するため、戸惑う生徒もいた。また、クロストークでの発表は英語を話すことに精一杯で、ビデオレターをとるという設定が頭になく、笑顔や声の大きさ、ジェスチャーなどができていなかった。英語で話す際の表現方法についても支援できれば良かった。

## 3. 授業の改善点

児童生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の3点について今回の授業の改善点を挙げて下さい。

- (1) 授業デザイン（課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど）
- (2) 課題や資料の提示（発問、資料の内容、ワークシートの形式など）
- (3) その他（授業中の支援、授業の進め方など）

(1) 生徒の課題への取り組みの様子と生徒の事前事後活動の解答を見ると、課題の設定は生徒たちにとって適当であったのではないかと考える。英語でのコミュニケーション能力を伸ばしたいという面でも、相手の事を意識した英語での提案ができていた所は良かった。しかし、日本語の単語をそのまま使って、説明しようとする生徒がかなり多かった。日本のことを全く知らない外国人がいきなり「かき氷」「初詣」という単語を聞いても理解できないという感覚が生徒には身につけていない。相手が本当の意味でわかりやすい英語での説明ができるように、この授業の前に、ある程度の訓練が必要であったと考える。

エキスパートの設定については、最初は、「夏休み」「冬休み」「ゴールデンウィーク」の3つ

に分けていた。これだとジグソー活動で意見が強い人の「時期」に決まってしまうことが想像でき、後のメンバーの意味がなくなってしまう。アドバイスを頂き「イベント」「食べ物」「気候」の3つにエキスパートを変えることで、すべての生徒の意見が取り入れられたジグソー活動になった。エキスパート活動のどれか1つではなく、全ての要素がジグソー活動で必要となる授業デザインの大切さを改めて学んだ。

(2) エキスパート活動では、それぞれのグループがジグソー活動で使うことができるアイデアを出し合うことができるのか不安であったが、グループごとに差はあったもののそれぞれアイデアを出しあうことができていた。また、生徒自身が考えたアイデアであったので、伝えたいという気持ちが大きくなったのではないかと考える。

この課題をアメリカに住むALTの弟にビデオレターの形で提示してもらえたのは、リアリティがあった。また、クロストーク後に、代表3グループのビデオレターを撮影し、アメリカに送ることができた。これらの作品をお互い観賞したり、クロストークで生徒個人が各グループの発表内容の説得力について相互評価しているのも、その集計をフィードバックすることで、生徒のモチベーションをさらに上げることができたかもしれない。

(3) エキスパート活動とジグソー活動の時間配分はおおむね良かったと感じる。しかし、クロストーク前の発表準備の時間は少なかったため、英語が苦手な生徒にとっては大変であったと思う。相手にしっかりと伝わる声量や発表の仕方を意識する仕掛けができるようにしたい。

授業1ヶ月後、パフォーマンステストとして、同じ課題を提示して、何も見ずにALTに生徒が自分の考えを英語で説明する機会を設けたが、全ての生徒が英語で自分の考えを伝えることができた。ジグソー活動で取り組んだことを、生徒自身の英語で伝える機会をこれからも作り、生徒の自信につなげていきたい。